活動報告

学会発表を終えて

三枝　南十（大和市立病院 発表日現在）

会員ライフサポート部 活動報告 第23報

会員ライフサポート部は、平成22年5月27日（木）～29日（土）岐阜県に於いて開催された、「第45回日本理学療法学術大会」で3題の演題を発表しました。

1日目（27日）に、一般口述発表（教育・管理系理学療法）で、「パパPTから見た育児と育児休業取得」を、平成20年度実施したアンケート調査集計結果の報告として発表しました。

2日目（28日）は、ポスター発表（教育・管理系理学療法）で、「理学療法部門の責任者を対象とした出産・育児と仕事の両立に関する調査報告（第1報）-集計結果からみた傾向-」と「同（第2報）-自由記載から考える問題点-」の2演題を発表しました。これは、平成21年度に県内各施設の理学療法部門責任者の方々にご協力頂いたアンケート調査の集計結果報告です。結果報告を2つに分けたことで、内容を分かりやすくし、伝えることができたと思います。

当日は、全国から集まった理学療法士の方々に対して緊張しつつも、会の活動をアピールし無事に発表を終えることが出来ました。

質疑応答では、皆様が抱えている問題や、直面している現状等を活発に議論することが出来ました。また、会員ライフサポート部の活動を他県の方が知っていて、神奈川が先駆けだと言って頂けたり、引き続き調査をして欲しいと、激励の言葉もかけて頂けました。

また、同じセッションの中で、ワークモチベーション・残業時間の調査・専門意識についてなどの発表があり、ライフイベントとして生じる様々な問題を知ることが出来ました。分析方法やレイアウトなども今後の部の活動の参考にするべき事柄を学ぶことが出来ました。

理学療法士が資格として認められ40年以上が経過した現在、会員ライフサポート部は、就労ライフに伴って起こってくる様々なイベントを調査研究し、情報提供をしています。

これまで出産・育児を通して、女性の職場環境・男性理学療法士の父親としての育児に対する意識・管理者（責任者）に向けての実態調査に取り組んできました。

次は、介護の問題でしょうか…

引き続き、会員の皆様にアンケート調査をお願いすることがあります。

また、広く会員の皆様のご意見を反映するためにメールサポートメンバーを募集しています。

ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員ライフサポート部からのお知らせ

1 今年もリカレント研修を下記の通り実施いたします

【研修施設】

Aコース　急性期病院 聖マリアンナ医科大学病院
Bコース　回復期病院 南大和病院
Cコース　訪問リハビリ 足柄リハビリテーションサービス

※研修施設は追加される可能性がありますので、県士会ホームページでご確認ください

【期　　日】
平成22年5月～平成23年2月の5単位（時間）×5日間

【受 講 料】5000円

【募集定員】各施設2名

【応募方法】
①氏名 ②年齢 ③性別 を記入の上、下記の応募先へメールでお申し込みください。
こちらから応募内容を再度ご連絡申し上げます。

【応募・問い合わせ】
神奈川県理学療法士会会員ライフサポート部　萩原 文子
（lifesupport@pt-kanagawa.or.jp）
（社）神奈川県理学療法士会事務局　FAX045-326-3226

【応募締め切り】平成22年12月25日

2 メールサポートメンバーを募集します

会員ライフサポート部は、理学療法士としての就労ライフにおける様々な問題を調査・研究し、情報を提供しています。会員の皆様から幅広くご意見を頂きたく、メールサポートメンバーを募集することになりました。
詳細は、（社）神奈川県理学療法士会ホームページをご確認ください。

3 平成22年6月1日より育児休業法が改正になりました

詳細は、（社）神奈川県理学療法士会ホームページをご確認ください。